



目次

- 8 10月1日から救急安心センターさっぽろ（#7119）
が利用できます
- 9 江別の「食改さん」が全国で評価
- 10 江別市立病院 経営再建への道
- 12 【EVENT&NEWS】病院まつり ほか
- 27 【TOP 対談 第11回】浅香工業株式会社

2026

10

vol.1044

特集

大麻銀座商店街

人情味あふれる長屋に、今日も暖かな明かりが灯る

大麻銀座商店街で開催された「ランタンナイト」。平成30年に発生した胆振東部地震を教訓に、毎年行われているイベントで、自宅で保管しているランタンなどの電池が切れていないか、確認する機会にもなっています。

今年は、商店街の盆踊りで配られたランタンキットを、子どもたちが作って持ち寄りました。イベント当日は街路灯が消され、ランタンやろうそくのやさしい灯りが道を照らしました。ランタンの灯りは、どこか暖かく、会場には心安らかなひと時が流れていました。（9月6日撮影）

人情味あふれる長屋に、今日も暖かな明かりが灯る

大麻銀座商店街



大麻銀座商店街は、昭和43年から続く歴史ある商店街です。『長く続く理由は、変化を恐れない風土のおかげだ』と、大麻銀座商店街振興組合理事長の岸本^{きしもと}さんは言います。

全国の商店街は、20年ほど前から大型ショッピングモールが地方に進出したことなどをきっかけに、衰退の一途をたどり、その多くがシャッター街となっていました。大麻銀座商店街はその流れを断ち切ろうと、「誰もがチャレンジできる商店街」へと変わる決断をしました。

従来の商店街は生活必需品を販売する店舗が多数を占めていた中、ゲストハウスなどで、従来の商店街のイメージとは異なる店舗も仲間に加えることで、新たな仲間とともに成長する商店街になりました。

そんな挑戦し続ける商店街に、1月7日、火災が襲いかかりました。雪景色の中で燃えていく数々の店舗。商店街の一角が全焼する大きな火事でした。それでもなお、火事からの再生を目指しながら、時代に合わせて変わり続ける商店街。そこで奮闘する方々に話を聞きました。

【詳細】広報広聴課

☎ 381-1009

Interview

大学生が活躍する商店街

私が大麻銀座商店街に拠点を置いたのは、独立して活動を始めた2013年のことでした。「江別港」という場所を立ち上げ、大学生がまちでフィールドワークをするための拠点を作りました。

江別市には、およそ1万人もの大学生がいますが、市民と大学生の間には、どこか見えない壁があるように感じていました。この壁をなくし、市民と学生が自然に交流できる仕組みをまちに根づかせたい。そんな願いを込めて、江別港を始めました。



大麻銀座商店街 専務理事
橋本 正彦 さん

大麻銀座商店街をチャレンジできる場へ変革させるキーマン。若手の創作活動の支援も行う。

大学生が短編映画を制作したり、自分が作ったものを販売したりすることを、この商店街で実現できました。商店街と大学生が、少しずつ溶け合っていくような手応えがありました。

「日本最北のブックストリート」としてスタート

また、この商店街のメインイベントの一つとして、「ブックストリート」を、読書環境の格差解消に取り組む団体「北海道ブックシェアリング」と一緒に企画しました。古本を1冊100円で販売したり、お気に入りの本を紹介し



あうビブリオバトルをしたりする人気イベントでした。このイベントを毎月開催することで、「大麻銀座商店街は勢いのある商店街だ」というイメージが付き、メディアに取り上げられることが増えました。おかげで大麻銀座商店街を訪れる人も増え、ブックストリートは合計100回以上開催することができました。この活動を知り、新たに仲間が加わるという流れもでき、そこから今の「誰もが挑戦できる商店街」という印象が強くなっていった気がします。

これまでとこれから

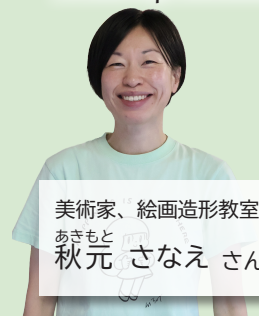
私がこの商店街でチャレンジができたのは、以前理事長を務めていた八島さんから受け継がれている「何でも受け入れる風土」のおかげです。



そのおかげで思い切った挑戦することができましたし、それに呼応して若者がこの商店街に入ってきてくれたんだと思います。これからも商店街の一員として、私よりも若い世代が挑戦できる商店街にしていきたいと考えています。その一歩として、始めたのが「SROG」です。1階にはアーティストのギャラリーを、2階には4人のクリエイターの活動拠点を整え、新たなスタートを切りましたが、その矢先に火事に見舞われてしまいました。

メンバーの中には、今まだ活動する場所を探しながら、何とか活動を続けている人もいます。また若手が活動拠点を商店街に置けることを願っています。

Pick up Creator



美術家、絵画造形教室講師
あきもと 秋元 さなえ さん



作品が天井からぶら下がっている「とりむしさかな」。火事で焼けたため、商店街の別の場所で再開している。

私のアトリエ兼絵画造形教室「とりむしさかな」は、子どもたちが自由に何でも創作できる居場所です。のびのびとした創造力を育てるお手伝いをしています。私がこの商店街でアトリエを開いたのは「江別港」がきっかけです。江別港にあったカフェ「麺こいや」に通ううちに、若い人でも受け入れてくれそうな雰囲気になてうれしかったです。「ランタンナイト」で使用されたランタン（表紙左下）は、子どもが作りやすいものと思い、私が提案したものです。商店街の中の一店舗として、イベントの力になれてうれしいです。

新たなチャレンジ × 火事からの復活

人と心が寄り合う 居場所をつくりたい

元々、私はイベントの撮影で何度かこの商店街を訪れていました。火災から間もない2月に、何か力になればと「大麻銀座商店街復興支援チャリティコンサート」を企画しました。その中で商店街が多くの方に愛されていることを実感し、人の温かさにたくさん触れました。そこで今度は自分も商店街の中に入って貢献したいと考えました。

火をきつかけに、優しく寄り合う居場所になるようにとの願いと、穏やかな響きから「HIYORI」と名付け、この商店街に誰もが集まれる居場所づくりのプロジェクトを立ち上げました。

そんな時、商店街の方に「この建物の1階でライブハウスをやってみたら？」と提案し



誰もが訪れやすい空間作りにチャレンジ

てもらいました。すぐに「やりたい！」と返事をして、本格的に動き出しました。声を掛けてくれた方にも仲間に加わってもらい、1階はライブカフェ、2階は学習塾、3階はクリエイティブスタジオになる建物として、10月1日に新たなスタートを切る予定です。オープンした際は気軽に立ち寄ってくれるとうれしいです。仲間たちと積んだれんがの壁をぜひ見に来てください。

商店街に本格的に関わるようになってから、この商店街の皆さんには「仲間」という言葉がよく似合うと思うようになりしました。私もその一員に加われることにワクワクしながら、「HIYORIプロジェクト」に奮闘中です。

火災で燃えた「後樂園」 後押しを背に、再開へ向けた一步を

後樂園は昭和54年4月に開業しました。人気だったメニューはホルモンです。たれで下味をつけ、食べる時は下味とは別の「シャバシャバのたれ」をつけて食べるのが特徴です。どのメニューもお腹一杯食べてもらえるようボリュームたっぷり提供していました。

まさか火災で店舗が燃えるとは思ってもみませんでした。

焼け落ちるのを見た時には「もうこれはだめかもしれない」と思い、膝がガクツと折れました。そんな中、火事で焼け残った看板に明かりがついたんです。それを見て「もう一回、この場所で店を営業したい」と強く思いました。そこから商店街の皆さんにも協力してもらいながら、再ス



焼肉後樂園 店主
いしもと まさと
石元 雅人 さん



焼け残った店の看板に明かりがついた！

タートの計画を進めています。火事の後、6月に開催された商店街のイベントで、私がホルモン串を販売することになりました。正直、売れるのか自信が無く、「これくらいなら売り切れるかな？」と控えめな量のホルモンを準備しました。予想に反して、ホルモン串は1時間足らずで完売しました。

ずらっと並んだお客さんを見ると、込み上げるものがありました。が、とにかく無心でホルモンを焼きました。常連さんからの「またお店待ってるからね」という言葉や、再開を待ち望む手紙をもらい、本当にうれしかったです。

この商店街でまたお店を開いて、皆さんに自慢の焼肉を食べてもらう日が待ち遠しいです。

焼けた場所の向かいで再開 子どもの声が響く商店街の元気印

「みんなのいえ」は、放課後児童クラブです。近所のお母さんたちが、地域の子どもの見守ろう、と集まっている場所です。

「みんなのいえ」を始める前から、ママカフェや映画の自主上映会などで商店街を利用していて、当時から「人情味あふれる大麻銀座商店街っていいな」と感じていました。子どもたちには、多様な人たちに囲まれて、地域の中で成長してほしいと思っていたので、ここはびったりな場所だと感じ、2019年に「みんなのいえ」を開設しました。

最初は少し不安もありました。登下校中の子どもたちが、店舗の自動ドアの前に立って開け閉めをしたり、店先のガラスに触れたり、いたずらをしてしまうことがあったんです。それでも商店街の方は



みんなのいえ 代表
すずき りつこ 鈴木 律子 さん



手作りおやつを食べる子どもたち

温かく見守ってくれて、「おかえり」「いたずらするなよ」など声を掛けてくれました。

また、火事で「みんなのいえ」が燃えてしまった後に「子どもたちの声が聞こえなくてさみしい」と声を掛けてもらいました。いつも迷惑ばかりかけていたと思っていましたが、実は商店街の元気印のよう存在だったのかなと、少しうれしくなりました。

「みんなのいえ」は、多くの方が再開に向けて協力してくれたおかげで、火事で燃えた場所の向かいの建物に、半年後に再開することができました。本当に感謝しかありません。これからは、火事の影響で足踏みしている「中高生の居場所支援」にも力を入れて取り組んでいきたいです。

利用者から店主へ 人の縁を「むすぶ」おにぎり屋さん



おにぎりカフェむすぶ 店主
ふなだ ともこ 舟田 智子 さん

私は元々この商店街の利用者でした。今と違って、昔はおもちゃ屋さんや本屋さんなどがあって、よく子どもと買い物に来ていました。今は時代の流れとともに、どんなお店も変わってきたと感じています。

スーパーが商店街の中にあつて、商店街にお客さんを引き留める重要な役割を担ってくれていて感謝しています。

そんな昔からなじみのある商店街で、新しい挑戦ということでお店を始めて、今年で3年目になります。

還暦を過ぎてから店舗を構えたので、無理のない範囲で、仲の良い友人に手伝ってもらいながら、楽しくお店に立っています。来店してくれたお客さんとお話するのも楽しいです。

この商店街はとても愛されていると思います。火事の後に多くの方が炊き出しをしたり、お客さんがうちで食事したおつりを募金箱に入れてくれたりしました。

時代が変わり、生活必需品を買い求めるお店は減っても、この商店街への愛着は、みんな変わらないんだと思います。

みのも一つです。

お店ではおにぎりだけでなく、自分の大好きなソフトクリームも提供しています。お勧めはブレンドソフトとソフトクリームをブレンドさせた、珍しいソフトクリームです。

お店を出すに当たっては、商店街の方々がいろいろサポートしてくれました。ウェルカムな雰囲気でもうれしかったです。



ふっくらで具たくさんなおにぎり

大麻銀座商店街を歩く

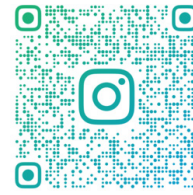
Original MAP



いちかわ

月替わりのランチメニューを提供しています。上品な定食や話題のスイーツが食べられます。
定休日：月、火、日曜日

大麻銀座商店街 Instagram



最新情報は
ここからチェック

食事処 いちかわ



大麻第二住区会館



釣具、カフェ、アクセサリー FROM NORTH SHORE



札幌方面 →



寝具、介護・福祉用具
きしもと
岸本ふとん店



家具店
ムーンリット スタジオ
moonlit-studio



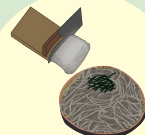
プログラミングスクール
スナバコ
SUNABACO 江別



放課後児童クラブ
みんなのいえ



地域交流スペース
放課後デイサービス
わたなべストア



そば処
こりあん
狐狸庵



犬の美容室
あべる



スナック
ベニ
BENI華



お茶屋
たかの園



ヘアサロン
ラ・フェ



アトリエ
とりむしさかな



moonlit-studio

職人が、使う人に寄り添ったオーダー家具やオリジナル家具を作成します。修理も受け付け。
定休日：不定休

わくわくする商店街

この商店街には、約10年前にできた「どんな人でも挑戦できる場所にしよう」「地元の人役に立つ商店街になろう」という二つのスローガンがあります。そこからイベントなども積極的に開催し、「あそこに行けば何かやってくるぞ」と思ってもらえる商店街になっていきました。人がたくさん集まって、みんながイベントを楽しむ姿を見て私もうれしいです。

イベントだけでなく、それぞれのお店には、そのお店にしかない特色があります。ぜひ一度、大麻銀座商店街に来てみませんか。

平日の午後なら、きっと元気な子どもたちが出迎えてくれますよ。



大麻銀座商店街振興組合
きしもと よしひろ
理事長 岸本 佳廣さん



ゼニウス・ロキが旅をした

セミナーの開催もしています。
江別の食材で作ったランチプレートが看板メニュー。

定休日：火、水曜日



Patisserie Ruelle

社会福祉法人ゆうゆうが運営するスイーツ店。シュークリームは甘さ控えめでさっぱり。

定休日：月、日曜日

写真店
ビーショット



カフェ・ゲストハウス
ゼニウス・ロキが
旅をした



自転車店
サイクルセンター
マツバラ



スイーツ店
パティスリー
Patisserie
リュエル
Ruelle



寄り合う居場所
ひより
HIYORI



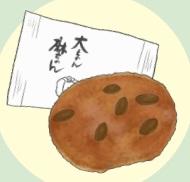
← 岩見沢方面



カフェ
おにぎりカフェ むすび



美容院 Hair&Make's
リバティ
LIBERTY



菓子店
ほうらいけん
宝来軒



ディスカウントショップ
トライアル
TRIAL 江別大麻店



駐車場



宝来軒

江別のお菓子「大ちゃん麻ちゃん」が買える和菓子のお店。お土産にぴったり。

定休日：元日、不定休

特集への感想をお待ちしています

▼ 郵送・ファクスで送る

〒067-8674 高砂町6 江別市広報広聴課宛て

FAX 381-1070

▼ HP アンケートフォーム

HPで「広報えべつ」を検索するか、右の二次元コードを読み込んでください



編集後記

みんなが口をそろえて「この商店街はあったかくて好きだ」と言っていた。私も、何度か訪れるうちに、この商店街が好きになった。「こんにちは！また来てくれたんだね！」という温かい声で迎えられる。「今日は暑いですね」「アイス、食べて行きな」のように自然と会話が弾む。大麻銀座商店街に新たな仲間が加わり続けるのは、こういった優しさと人情味をみんなが持っているからなんだな、と感じた。

ランタンナイトの撮影に行った日、少し肌寒くなった夜空の下で食べた商店街特製の汁は、今までで一番あったかかった。

10月1日から 救急安心センターさっぽろ (#7119) が利用できます

急に体調が変化したときや、けがをしたとき、「救急車を利用した方がいいか」「様子を見た方がいいか」など判断に迷うかもしれません。

#7119（救急安心センターさっぽろ）に電話すると、症状の緊急度や受診の必要性を看護師に直接相談できます。

（詳細） 地域医療担当 ☎ 385-4600



▲ HP

急な病気やけがで迷ったら

 **#7119**

**24時間 365日
看護師が相談に対応します**

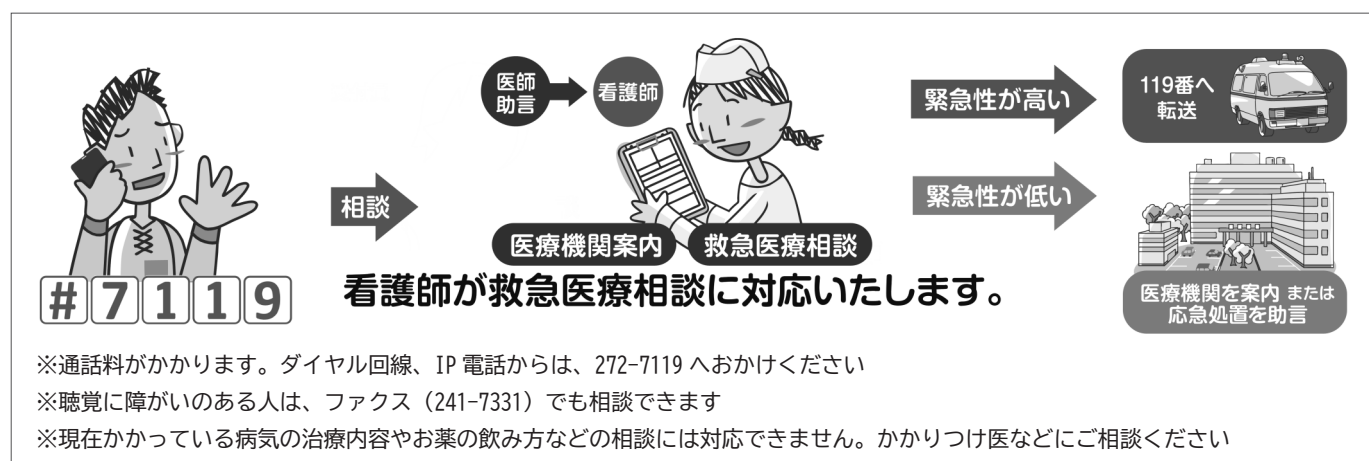
※ 20 カ国語以上の言語に対応しています

◆ どんな対応をしてもらえるの？

症状を伝えることで、看護師が緊急性を判断します。相談をもとに 119 番へ電話をつなげたり、医療機関の案内や応急処置の助言などを行ったりします。

こんなときは、#7119 に電話

「お腹が痛いんだけど、救急車を呼んでもいい？」
「熱が下がらないんだけど、病院に行った方がいい？」
「今から診てもらえる病院はある？」
「応急処置はどのようにすればいい？」



◆ 緊急度を自分でチェック（緊急度判定サポートツール）

スマートフォンなどから質問に答えるだけで、症状に応じた緊急度を自己判定できます。右の二次元コードからご確認ください。（利用無料）

判定時に発行される番号を控えておきましょう。判定に不安がある場合は、#7119 に電話して番号を伝え、スムーズに相談することができます。



▲緊急度判定サポートツール

こんな時はためらわず、救急車を！

次のような症状は緊急性が高いです。直接 119 番に電話してください。

- ・ろれつがまわらない
- ・突然、片方の手足に力が入らなくなる
- ・急な息切れや呼吸困難
- ・胸が締め付けられる
- ・いつもと違う、様子がおかしい など

緊急性が高い



江別の「食改さん」が 全国で評価



食生活改善推進員は「食改さん」と呼ばれ、食を通じて地域の健康づくりを支えるボランティア活動をしています。

昨年、市内で活動する食生活改善推進員で構成される江別市食生活改善協議会が、食生活改善を通じて地域の健康づくりに貢献した団体へ贈られる、日本食生活協会の「南・賀屋賞」を受賞しました。

〔詳細〕 保健センター ☎ 385-5252



地域の健康を支える「食改さん」の活動

ふれあいレストラン



70歳以上の方を対象に、栄養バランスや塩分量に配慮した食事を提供しています。歌やゲームなどのレクリエーションも行い、交流の場となっています。

野菜 350g 計量体験



3歳児健診やイベントで、1日に必要な野菜摂取量 350g を量る体験を行っています。実際に、350g の野菜がどのくらいの量が体験できます。

「食改さん」の声

学んだことを、 地域の人へ

「食改さん」になって、1日に必要な野菜摂取量など、初めて知ったことがたくさんあります。活動を通して学び、人に伝えられることがどんどん増えてうれしいです。



令和6年講座受講
佐々木 和江 さん



あなたも「食改さん」として活動してみませんか

市が開催する食生活改善推進員養成講座を受講すると、「食改さん」として活動することができます。全6回の講座で栄養や調理の基本などを学び、修了後は江別市食生活改善協議会に入会して活動します。

会場 保健センター（第1～4回）、野幌公民館（第5・6回）

対象 6回すべての講座に参加できる市民

定員 30名（先着）

受講料 2,500円

申込方法 10月5日（月）～16日（金）に保健センターへ電話または直接申し込み

※江別市食生活改善協議会へ入会するにあたり、別途年会費がかかります。

詳細はお問い合わせください

養成講座の日程（全6回）

回	日時
第1回	11月6日（金） 9:30～12:30
第2回	11月13日（金） 9:30～12:30
第3回	11月20日（金） 9:30～12:30
第4回	11月27日（金） 9:30～12:30
第5回	12月4日（金） 10:00～15:40
第6回	12月11日（金） 10:00～14:50

江別市立病院 経営再建への道

【詳細】市立病院 経営企画課

☎ 382-5151

▼ 経営再建への 取り組み



診療体制の整備を最重要課題として医師の招へいに取り組み、新たに消化器内科の医師2名が着任し、令和7年10月から消化器病センターを開設しました。また、「未来医療創造基金」を活用した北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学教室および札幌医科大学医学部消化器内科学講座との共同研究にも取り組み、将来の医師確保に向けて医科大学との関係性の強化に努めました。

また、積極的な救急患者の受け入れ体制を維持・強化したほか、江別医師会や市内の医療機関と連携しながら内科系二次救急輪番制を推進して、救急医療体制の安定化を図り、救急搬送患者数や新規入院患者数の増加に努めました。さらに、可能な限り市内で完結できる医療体制の確立を目指すために設立された「地域医療連携推進法人メディカルアライアンス江別」の参画医療機関として、医療法人溪和会江別病院とともに地域医療連携強化の取り組みを進めました。

▼ 決算概要

なお、令和8年度に予定していた「江別市立病院経営強化プラン」（令和6～10年度）の中間見直しは、令和6年度決算の収支悪化などを踏まえ、令和8年3月に前倒しで実施しました。今後も病院職員一丸となり、経営改善を進めます。

令和7年度は、「江別市立病院経営強化プラン」に基づき、市民に必要な医療を安定的に提供するための取り組みに努めました。

救急患者の積極的な受け入れ強化により、入院患者数は前年度から7522人増加。地域の医療機関との連携を強化したことで、外来患者数も前年度から3381人増加しました。この結果、病院事業収益全体では、前年度から約9億8300万円の増収となりました。

費用面では、給与改定や出張医報酬増により給与費が増加したほか、外来患者数や手術件数増などの影響で、材料費が増加しました。この結果、病院事業費用全体では前年度から約4億7600万円の増額となりました。

令和7年度 点検・評価に関する意見書

【詳細】市立病院 経営企画課 ☎ 382-5151



市立病院の経営再建を着実に推進するため、外部委員で構成される「江別市立病院経営評価委員会」を設置し、経営再建の進捗状況について点検・評価を受けています。

8月20日に開催された令和8年度第2回委員会で、令和7年度決算に対する点検・評価について議論され、9月15日に経営評価委員会から後藤好人市長へ意見書が手渡されました。

意見書の詳細については、市立病院のHPをご覧ください。



▼ 経営再建の進捗状況に対する評価

① 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る取組	B
② 経営の効率化に資する取組	B
総合評価	B

【評価基準】

[A] 予定以上に進捗している [B] おおむね予定通り進捗している
[C] 予定より進捗がやや遅れている [D] 予定より進捗が遅れている

令和7年度決算と前年度との比較

区 分	令和7年度	令和6年度	比較増減
病院事業収益	76億3,600万円	66億5,300万円	9億8,300万円
病院事業費用	79億5,600万円	74億8,000万円	4億7,600万円
単年度純損益	△3億2,000万円	△8億2,700万円	△5億700万円

区 分	令和7年度	令和6年度	比較増減
一般会計繰入金	17億2,400万円	16億500万円	1億1,900万円
一般会計長期借入金	なし	4億円	-
累積欠損金	△16億2,100万円	△13億100万円	△3億2,000万円
不良債務残高	23億円	14億3,700万円	8億6,300万円
一般会計長期借入金残高	24億6,700万円	25億900万円	△4,200万円

区 分		令和 7 年度	令和 6 年度	比較増減
延患者数	入院	73,361 人 (201.0 人 / 日)	65,839 人 (180.4 人 / 日)	7,522 人 (20.6 人 / 日)
	外来	131,834 人 (544.8 人 / 日)	128,453 人 (528.6 人 / 日)	3,381 人 (16.2 人 / 日)
病床利用率	一般	74.8%	66.2%	8.6 ポイント
	精神	77.9%	74.5%	3.4 ポイント
	全体	75.3%	67.6%	7.7 ポイント

※病床利用率は休止病床を除いて計算しています



高齢者インフルエンザ、高齢者新型コロナウイルス

予防接種情報

高齢者の発症と重症化を予防するため、予防接種を実施します。実施医療機関は下の二次元コードでご確認のうえ、直接お申し込みください。受診の際は、感染予防のためマスクの着用をお願いします。なお、ワクチンの供給状況によって開始時期などが変更となる場合があります。【詳細】保健センター ☎ 385-8910

	高齢者インフルエンザ	高齢者新型コロナウイルス
期間	令和8年9月28日(月) ～令和9年1月31日(日) (休診日を除く)	令和8年10月5日(月) ～令和9年3月31日(水) (休診日を除く)
対象	接種を希望する市民で、以下の①か②に該当する方 ①接種当日 65歳以上の方 ②接種当日 60～64歳で、心臓、腎臓、呼吸器またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がいがある方(障害等級1級またはそれに準ずる方)	
料金	1,150円(回数1回) 生活保護世帯 無料 ※1 非課税世帯 無料 ※2	7,800円(回数1回) 生活保護世帯 無料 ※1 非課税世帯 有料

※1 生活保護受給者証のコピーを受診時に提出してください

※2 高齢者インフルエンザ予防接種は非課税世帯の方も無料です。65歳以上の方は医療助成課から送付された以下のいずれかの通知書のコピーを受診時に提出してください。

・介護保険料額決定通知書(世帯市民税状況が非課税のもの)

・限度区分(区Ⅰまたは区Ⅱ)の記載がある後期高齢者医療資格確認書

接種対象者のうち、65歳未満の方やこれらの証明書発行の対象とならない方は、事前に市民税課で非課税世帯証明書を取得し、受診時に提出してください

高齢者インフルエンザ予防接種と高齢者コロナウイルス予防接種の対象とならない方や、期間外に接種を希望される方は「任意接種(全額自己負担)」として、内科・小児科などで接種を受けることができます。

かかりつけ医、または近くの医療機関にご相談ください。



第73回 江別市民文化祭

【詳細】江別市文化協会事務局 ☎ 598-7161
(祝日除く火・木・金曜日 13:00～16:00)

「舞台」「展示」「生活文化」「文芸」の各部門で、多くの市民が日頃の成果を披露する、市内最大の文化事業です。※諸事情により、変更となる場合があります

開会式&江別市民芸術文化賞等表彰式&展示&ステージ発表&チャリティー(入場無料)

【日時】10/3(土) 開場 9:45 開演 10:00

【会場】えぼあホール

文芸部門 開場 13:00～17:00

行事名	開催日	会場
短歌大会	10/18(日)	野幌公民館
川柳大会	10/24(土)	
俳句大会	11/1(日)	中央公民館

展示部門 開場 10:00～17:00(最終日 16:00まで)

行事名	開催日	会場
市民美術展	10/24(土)～30(金)	野幌公民館
市民菊花展・市民華道展	11/1(日)～3(火・祝)	コミュニティセンター
市民書道展・市民陶芸展・市民盆栽展		野幌公民館
一般展示		コミュニティセンター 野幌・大麻公民館

※文芸、展示部門の観覧はいずれも無料

舞台部門

行事名	開催日時	会場	入場料
市民合唱祭	10/4(日) 13:30	えぼあホール	500円、高校生以下無料
邦舞大会	10/11(日) 12:00	えぼあホール	500円
江別deブチ演劇フェスティバル	10/12(月・祝) 14:00	コミュニティセンター	500円、18歳以下無料
野幌太々神楽発表会	10/18(日) 13:30	野幌公民館	無料
エイバツバンドカーニバル	10/18(日) 13:30	えぼあホール	1,000円、高校生以下無料
大正琴フェスティバル	10/25(日) 13:00	えぼあホール	300円
市民器楽祭	11/1(日) 13:30	えぼあホール	無料
詩吟・剣詩舞大会	11/3(火・祝) 12:00	えぼあホール	無料
洋舞フェスティバル	11/3(火・祝) 14:30	市民会館	1,000円 座席不要の3歳以下無料
民謡フェスティバル	11/8(日) 10:00	えぼあホール	無料
江別こども文化祭	11/15(日) 13:00	えぼあホール	500円、4歳～高校生 200円 3歳以下無料

生活文化部門

行事名	開催日時	会場
将棋大会	11/1(日) 13:00～17:00 ※小中学生と文化協会員は無料、大人一般の部は500円	青年センター
茶会	11/1(日) 10:00～15:00	野幌公民館
	11/3(火・祝) 10:00～15:00	コミュニティセンター 野幌・大麻公民館

※茶会は無料

EVENT

第25回 野幌の舞

(詳細) 江別市野幌太々神楽伝承会
☎ 385-0085 (池田)



市の無形民俗文化財に指定されている「野幌太々神楽」は、明治時代に新潟県から伝えられ、野幌地区で受け継がれてきた伝統芸能です。笛や太鼓、鉦のお囃子とともに、さまざまな神楽の舞を披露します。当日は、地域で神楽を守り伝えてきた野幌太々神楽保存会も出演します。申し込み不要。直接会場へ。

日 時 10/18 (日) 13:30 開演 (13:00 開場)
会 場 野幌公民館

EVENT

市立病院開院 75 周年記念事業
病院まつり

(詳細) 市立病院 ☎ 382-5151



普段見る機会の少ない病院の内部や、医療従事者の仕事について、子どもから大人まで体験を通して楽しく知ることができるイベントです。

内視鏡の操作体験や手術室などの見学ツアー、医療従事者の職業体験のほか、健康セミナーや健康測定も行います。子ども向けの縁日、消防車・救急車の展示、キッチンカーもあります。申し込み不要。直接会場へ。

日 時 10/10 (土) 10:00 ~ 14:00
会 場 市立病院

詳細▶



EVENT

土佐市特産品販売会

(詳細) 江別市土佐会事務局
☎ 381-1008



友好都市である高知県土佐市の訪問団が江別市を訪れ、特産品を PR する販売会を開催します。

人気の水晶文旦やしょうが、カツオの加工品など、普段は味わうことができない土佐市の特産品が勢ぞろい。例年好評の「鮎の塩焼き」の実演販売もあります。

日 時 10/24 (土)・25 (日) 10:00 ~
※売り切れ次第終了
会 場 トンデンファーム・ガーデンセール内
(元野幌 968-5)

EVENT

野幌の歴史をたどる
のんびりまち歩き

(申込・詳細) (一社) えべつ観光協会
☎ 807-8650



野幌公民館を出発し、屯田資料館（入館希望者は入館料が必要）、野幌屯田兵屋、グリーンモール、ガラス工芸館などを巡って、江別の歴史を感じながら、江別観光ボランティアガイドの解説のもと、のんびり歩きます。子ども連れでも参加できます。

日 時 10/21 (水)・24 (土) 10:00 ~ 12:00
集合場所 野幌公民館正面玄関前 (9:50 集合)
定 員 各日先着 20 名
申込方法 10/15 (木)までに電話で申し込み



料金の記載がないものは、無料です

NEWS

令和9年度 札幌市立星友館中学校 (公立夜間中学) 生徒募集

【詳細】 教育支援課 ☎ 381-1409



さまざまな事情で中学校を卒業できなかった方や、不登校などで十分に学べなかった方が、中学校などの学習内容を学び直す公立夜間中学です。対象は15歳以上で、江別市に住んでいる方も入学できます。

申込方法 10/17(土)から、願書をメール、ファクス、郵送で札幌市立星友館中学校へ。4月からの入学を希望する方は12/25(金)まで。

願書や募集の詳細は同校HPをご覧ください。



EVENT

青ちゃんの 地産地消トークショー

【申込・詳細】 江別消費者協会
☎ 381-1026



フードプロデューサーの青山則靖さんが、江別産食材を使って料理をしながら、地産地消について話します。試食やレシピの配布、抽選会も行います。

日時 11/4(水) 10:00 ~ 12:00

会場 野幌公民館

定員 先着 100名

料金 100円 (江別消費者協会会員は無料)

申込方法 10/19(月)~27(火) 11:00 ~ 15:00 に電話、ファクス (381-1072)、メール (ebetsu-shouhisha@nifty.com) で申し込み

NEWS

水道料金が スマホアプリで支払えます

【詳細】 水道部営業センター
☎ 385-4987



10月発行分の納入通知書から、スマホアプリでバーコードを読み取ることで、水道料金を支払えるようになります。利用方法などの詳細は、二次元コードをご覧ください。なお、口座振替も引き続き利用できます。

【利用できるスマホアプリ】



au PAY

Rakuten
楽天銀行

Fami
Pay



d払い

R Pay



NEWS

えべつ生活応援商品券 使用は10月31日まで

【詳細】 商工労働課 ☎ 381-1023



期限を過ぎた商品券は使用できません。手元に残っていないか確認し、使い忘れにご注意ください。気になっていた地元のお店での買い物など、この機会に商品券をぜひご活用ください。

利用できる店舗などの詳細は、下の二次元コードをご確認ください。

商品券についての問い合わせは「えべつ生活応援商品券」コールセンター (☎ 0120-270-015) へ。受付時間は 10:00 ~ 17:00 (土日祝を除く)。

